

対象入学年度		対象学科名	
2016		建築学科	
科目名			
設計基礎演習II Basic Design II			
前後期	実施期	区分	単位数
後期	1年次後期	必修科目	1
担当教員			
鱒坂徹、木方十根、小山雄資、増留麻紀子、朴光賢			
代表者教員連絡先等			
ajisaka@aae.kagoshima-u.ac.jp (鱒坂), kikata@aae.kagoshima-u.ac.jp (木方), koyama@aae.kagoshima-u.ac.jp (小山), masudome@aae.kagoshima-u.ac.jp (増留), park@aae.kagoshima-u.ac.jp (朴)			
授業の概要(目的と内容)			
設計基礎演習Iで身に付けたことを発展させ、より正確な製図法、表現方法を修得する。そのうえで空間デザイン課題をまとめて、建築の基本である三次元思考になじむとともに、提案を建築的に表現していく力を身につける。			
受講学生が達成すべき目標			
(1)身近な建築物の図面、模型作成を通して、製図法、表現方法を修得する。 (2)建築空間と基本的な図面表記との照らし合わせができる。 (3)三次元思考になじむとともに、構想した建築空間を図面・模型として表現する力を身につける。			
成績の評価基準			
受講学生が達成すべき目標(1)～(3)に対応して以下に記載。括弧内は評価の比重。 (1)(2)建築物の図面トレース、実測、模型製作を通して、修得度を評価(50%)。 (3) 基礎的な空間デザイン課題を行い、修得度を評価(50%) 尚、成績は原則として複数の教員により達成度評価で判定される。			
授業計画			
主に以下の予定で進められる。時間割上の演習では、進捗状況のチェックが行われるため、学生には時間割以外の時間に自主的に作業を進めていくことが求められる。 1. ガイダンス、製図道具の使い方、建築設計図面のトレース練習1 2. 建築設計図面のトレース練習2 3. 建築設計図面のトレース1(平面図) 4. 建築設計図面のトレース2(平面図) 5. 建築設計図面のトレース3(断面図) 6. 建築設計図面のトレース4(立面図) 7. 学外研修旅行(実際の建物の見学) 8. 建築模型の制作 9. 図面トレース:最終講評会 10.小空間の設計:課題説明 11.エスキス1 12.エスキス2 13.エスキス3 14.エスキス4 15.プレゼンテーション方法の指導 16.小空間の設計:最終講評会			
授業時間外学習			
図面・模型の作成(15～30時間)。授業時間外に自主的に作業を進めていくこと。			
参考書・教科書			
製図道具:取り揃えるべき製図道具については授業で指示する。 参考書:必要に応じ、授業で紹介する。			

オフィスアワー

毎週月曜日13:00～14:30

修得しておくべき科目・必要な予備知識

設計基礎演習Iの単位を修得しなければ、本演習は受講できない。また、本演習の単位を所得しなければ、建築設計I～IVを受講できない。

身の回りの道具や家具、建築空間や都市空間に興味を持ち、観察することは大変重要である。スケッチブック、メジャー等は常時携帯することが好ましい。

学科の学習・教育到達目標との関連

学習・教育目標における本科目の分野は建築の基礎知識・能力(C1)で、授業時間は22.5時間、自主的・継続的学習能力とエンジニアリング・デザイン能力(E1)で、授業時間は22.5時間である。尚、本科目は建築学科エンジニアリングデザイン教育の「デザイン教育コア科目」です。

授業形態

演習

アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング(「その他」の内容)

アクティブ・ラーニング(授業回数)